

# 県人会と連携強化へ

## ホノルル 副知事がハワイ訪問



連携強化を確認する鈴木副知事(左)とワタナベ会長(提供)

鈴木正晃副知事は1日午前(日本時間2日午前)、ホノルル県人会の創立95周年記念式典に出席するため米国ハワイ州を訪れ、県人会のウォレス・ヨシト・ワタナベ会長と会談、東日本大震災からの復興に向け、県と県人会の連携強化を確認した。

鈴木副知事はハワイ州ホ

ノルル市にある県人会事務所を訪問、ワタナベ会長に震災後の支援に対する感謝を伝えた。

ワタナベ会長は、2014(平成26)年と17年に県人会員が本県を訪問したことに触れ「多くの会員が古里福島の魅力や、復興が進んでいる様子を自分たちの目で見てきた。今後も県との連携を強化していきたい」と話した。

この後、鈴木副知事はハワイ州政府でデービッド・ユタカ・イゲ州知事と会談。イゲ氏は「ハワイと福島県とは『家族』でつながっており、県人会が重要な役目を担っている。今後も交流が広がっていくことを後押ししていきたい」と話した。鈴木副知事は日本総領事公邸で伊藤康一総領事も懇談した。

ホノルル県人会は1923年10月20日に創立、会員218人が在籍している。創立95周年記念式典は3日に行われる予定。